

3類型	鋳工業品	通巻番号	4 - 21 - 012
地域資源名	伝統的工芸品(輪島塗)	認定日	平成21年7月10日
地域	輪島市	所管省庁	経済産業省

事業名 : 輪島塗の沈金技術、金箔、あかり等を用いた装飾素材の販売と、インテリア商品等への応用

会社名:アトリエMITANI

所在地:石川県輪島市小伊勢町舞田1-1

連絡先:TEL:0768-23-8088

H P:http://urushi-net.jp

FAX:0768-23-8077

事業概要(新たな活用の視点)

- ・輪島塗には、現在も漆塗や蒔絵、沈金技法などの装飾技術が保たれているが、その生産額は大きく落ち込み、新たな感性の導入による伝統技術の承継が望まれている。
- ・近年、それらの技術は漆器の加飾用途が大半であったが、古い歴史をかえりみても漆芸装飾技術は日本の固有の文化やものづくりの風土で育まれた装飾技術である。当工房は、伝統的な沈金技法の新たな活用として、他の漆芸技術や、伝統的製法による箔技術などを組合せた装飾技術を開発した。これにより漆芸技術の新たな可能性と、インテリア商品等の新分野への応用を目指す。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・沈金独特の鑿(ノミ)による伝統技術工法故の効果などを特徴としているので、機械加工とは一線を画した装飾表現力は、他の追従を許さない技術である。

市場性

- ・世界の特注の装飾を手がけるデザイン会社や販社は、オリジナル性や卓越した伝統工芸技術には鋭い目利きと、正確で正当な評価基準を持ち合わせている。それに応じた装飾技術には、現在でも需要が見られる。(メゾン&オブジェ連続5回出展の引合状況から)

販路

- ・インテリア、装飾・デザイン会社、高級装飾品販社、百貨店などを通じて具体的な販路開拓が進行中。
- ・内外の展示会等を通じて、更に販路拡大や応用製品の開拓を図る。

地域における関係事業者等との連携

- ・伝統技術の継承と進展を大切に考える専門職人達とのネットワークをいかし、県工業試験場や各種機関とも連携を図る事で、漆芸装飾技術の更なる応用や他分野からの用途開発に応じる。



【装飾パネル】



【輪島塗との組合せ】